

6月4日全校集会がありました。講話の中では、松下幸之助さんの「何事もゆきづまればまず自分のものの見方を変えることである、案外、人は無意識の中にも、一つの物の見方に執して、他の見方のあることを忘れがちである」という話をさせていただきました。例として2月に白血病を公表した水泳の池江選手の話挙げさせていただきました。池江選手は海外での練習中、思ったような練習ができなくなり記録会でも悪い記録が出たことで、検査を受けた結果病名が判明し治療に専念することになりましたが、気持ちが緩んでいるとか練習が足りないからとさらに追い込むようなことをすれば重大なことになっていたかもしれないところを検査を受け、病気がみえる原因と分かったことで、大きなショックではあったけど、気持ちを切り替え前を向くことができたのではないかと話をさせていただきました。現在は報道から練習も少し開始できるまでになったとのことで、早い回復を祈っていると結ばせていただきました。人間関係でも、生活環境の違う、住んでいるところも違う人間の集まりだから、まったく同じ考えの人はいないので、こういった考え方もできるのか、こういった人もいるのかと自分の引き出しを広げていけば理解できることも増えてくるし、行き詰まった時には何かヒントをもらえるかもわからないから心に余裕をもって良い知恵を出し合ひましょうという話で締めくくりました。多くの人が集まる学校では、衝突することや考えの違うことが多くあります。その際受け付けないのではなく、考え方の幅を広げるということによって接して行ってほしいという思いを込めての話です。お互いが共通理解を持ち、良い知恵を出し合い、クラス、部活動、学校という単位でそれぞれの力を高めたいけるように頑張っていきましょう。

集会後は、生徒会役員の認証式、表彰伝達、近畿大会の壮行会を行いました。壮行会では男子バレー部と陸上部の決意表明に続き、私から激励の言葉を述べさせていただきました。バレー部は今週末に全国大会出場をかけた大一番を控え、まずはそちらを全力で戦ってほしいことを、陸上部は全国大会への最終関門として持てる力を発揮してほしいことを伝えました。選手からはやる気と緊張感が伝わってきました。試合での活躍を期待したいものです。みんなで心から声援を送りましょう。



校務員の荻野さんが随分前から植え替えを計画されていた第2棟前の中庭につつじを植えられていました。虫がついたり、枯れてしまったりしていたのを整備され、植え替えていただきました。授業中にはできないということで、放課後から始められ随分遅い時間まで作業をされ、完了。花を見るのが楽しみになってきました。生徒活動にも配慮いただきありがとうございます。さらに玄関前の花壇も整備されました。(こちらは少し前ですが)色とりどりのペゴニアで、こちらも楽しみです。花は、本当に心を癒してくれます。通学や通勤途上の花を見てください。日々の変化を感じることができて気分が変わるきっかけをもらえます。また、季節を感じることもできます。気持ちに余裕がない時や落ち込んだ時、草花に目をやって心を落ち着かせましょう。

6月もはや第1週が終わります。1学期も中間点を過ぎ、いよいよ後半戦。来週は文化祭です。「青春時代の中で1つの目標を目指し共に成長していく」という意味(願い)を込めて作られた「Youth Polaris～今、この瞬間を～」のテーマで文化祭が行われます。初めて社高校文化祭を見るので、とても楽しみです。2日間の平日開催ではありますが、多くの方に見に来ていただき、感想などいただければと思います。展示、ステージ、一般バザー、食品バザーとクラス企画を分類して全員で作りに上げる文化祭です。役割分担をすることはもちろん、一人一人が自分の責任をしっかりと果し、盛り上がりのある文化祭となるよう期待しています。

いよいよ梅雨に入ります。体調を崩しやすい時期にもなりますので、コンディションを整え、1学期後半戦を乗りきれるよう頑張っていきましょう。

